

行政視察等報告書

平成28年 7月21日

米子市議会議長様

（会派の場合）

会派名 公明党議員団

代表者氏名 安田 篤

提出者氏名 今城 雅子



（議員の場合）

議員名



下記のとおり報告します。

記

項 目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	安田 篤・前原 茂・今城雅子・矢田貝香織
期 日	平成28年7月12日から 平成28年7月14日まで
[概要] (年月日・場所・内容) 7/12 筑後市役所 川と水を守る運動、クリーン作戦について 担当；筑後市 市民生活部かんきょう課 7/13 武雄市図書館 武雄市図書館の指定管理者導入について 担当；武雄市 教育委員会 文化課 武雄市役所 ICT利活用教育の推進について 担当；武雄市 こども教育部 スマイル学習課 7/14 大野城市 大野城市教育サポートセンター設置（いじめ防止対策等 推進新事業）について 担当；大野城市 教育委員会 サポートセンター長	
[所感] 別紙記載 _____ _____ _____ _____	
経 費	旅費総額 262,684 円

【所 感】

○筑後市役所 川と水を守る運動、クリーン作戦について

説明者；筑後市市民生活部 長野秀文かんきょう課長

昭和55年から36年間、毎年5月に市内全域で河川・水路・側溝等の一斉清掃を行っている。「筑後市川と水を守る運動推進連絡協議会」が主体となり、市民、事業所、団体が協働して活動に参加し、一部企業では重機等も積極的に提供して事業展開され、毎年、1万1500人の市民が参加する市の一大イベントとなっている。

行政としては、除去物（泥土・可燃物・不燃物・粗大ごみ）等の回収・運搬と処分。広報と資材用具の貸出と連絡調整を行っている。

長年にわたる事業の継続実施の背景は、市内76行政区（自治体）の加入率が95%ということに尽きる。『市民協働のまちづくり』のため、自治会加入率の向上に、更に取り組む必要性を感じた。

○武雄市図書館 武雄市図書館の指定管理者導入について

説明者；武雄市 教育委員会 文化課 白濱貞則氏

利用者が少ない図書館の充実にむけ、完全民間指定管理をされた。利用者にとっては、開館時間延長による市民サービスの向上、また大都市のみで入手できる書籍・雑誌が武雄市でも入手できることは利便性に優れ、周辺からの誘客にもつながっていることから、民間手法による経済効果と行政としての費用対効果は一定の評価ができる。

しかし、教育施設としての「図書館」なのか商業施設に近似する「図書館」なのか、『市民のための図書館』のあり方の見極めが必要だと感じた。

○武雄市役所 ICT利活用教育の推進について

説明者；武雄市 こども教育部 スマイル学習課 小柳真一氏

ICT教育は全国でも群を抜いている。電子黒板の利用は全クラス行い、小中学生全員に4700台のタブレット端末を貸与し、教材に対しての予習・関連学習を実施している。タブレットを使用する授業時間数は、主に理数系で全体の2割程度としている。さらに、小学1年生からプログラミング教育も実施。

当市においても実施に向け研究・検討が必要だと感じる。一方、現在は国の補助メニューが限られていることから、教育経費の問題が実施への課題となる。

○大野城市 大野城市教育サポートセンター設置(いじめ防止対策等推進新事業)について

説明者；大野城市 教育委員会 黒沢真二教育指導室長（サポートセンター長）

学校だけでは解決できない「子ども」の課題について、教育と福祉との連携強化の必要性からサポートセンターを設置。0歳から15歳までをサポートし、いじめ・不登校・特別支援教育・その他非行問題の解消・予防を図っている。臨床心理士や言語聴覚士、社会福祉専門員などの専門職を含む総勢26名体制で行われている。

「子ども」の健全育成と切れ目のない支援のために、平成18年から子どもに関する施策を『こども部』で一元的に扱う体制は、多様な子どもの問題に対応する有益性を深く感じた。